

根域空気供給機の効果確認試験

JAあさひかわ

千葉 直弘



①ロッキイ設置状況(シャトル)



②ロッキイ設置状況(シャトル)



③ハウス内育苗状況



④ロッキイ使用状況(シャトル)

試験目的

根域空気供給機効果確認

試験作物
及び品種

水稲育苗(ななつぼし、ゆめぴりか、そらゆき、きらら397)

試験資材
及び数量(規格)

灌水資材ロッキイ/茶(シャトルにて使用)

慣行資材

なし

栽培方法

播種日	移植日	収穫日
4月17~23日	5月17日	9月24日
【栽植密度】 畝幅：33cm 株間：14cm ※ポット苗 50~52枚/反		

資材使用期間

5月8日~5月17日

試験区面積

100坪

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

灌水用のシャトルに設置したが、簡単に設置、取り外しすることが出来た。

根張りが良かったため、田植作業をスムーズに行えた。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

ロッキイを使用して灌水した苗は昨年の発根促進剤を使用した苗と比較しても、根張りがよかった。

今年も特別栽培米の苗に対して発根促進剤を使用した苗、その苗よりも根張りが良いように感じた。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【問題点】：水圧が通常に比べ劣るため、灌水後の乾き方を確認し、場合によっては追加で灌水しなければならない可能性がある。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

資材の強度として、一年目の使用は全く問題なかったが、プラスチックの資材のため、太陽光による紫外線劣化が気になる。

モニター感想

設置にたいした手間もかからず発根促進剤の代わりに果たしてくれた。

発根促進剤は散布するまでの希釈等の作業があるが、ロッキイではそれもなく省力化につながる。

また、発根促進剤を使用するよりもコストが安い。

ロッキイを使用し、今までに見たことがないような根張りになっており、田植時の植え付けもスムーズに行えた。

次年度は使用を少し早め、2葉期ごろから使用を開始したい。

JA担当者の感想(旭正資材センター 富澤店長)

今回の試験結果は省力化・コストダウン両方にプラスに働き、とても良い結果だったと思う。

水圧が通常に比べ劣るため、時間当たりの灌水量が減少するため、場合によっては灌水方法・タイミングを変えないといけない場合がある。そこを注意点として、今後管内生産者にPRしていきたい。

今後の使用について

継続して使用したい。

次年度も使用したい。今年度より早い時期に使用したいと思う。

将来希望する資材について

被覆トンネルを簡単に開閉できる資材

1 発芽シミュ

2 散播シミュ

3 製地フィルム

4 マルチ

5 不織布

6 育苗資材

7 防虫ネット

8 防風資材

9 ICT機器

10 その他